

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ 京都版 No.173

Asia-Africa-Latin America(AALA) 2019年4月1日

京都府アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

連絡先 〒606-0033 京都市左京区岩倉南四ノ坪町4-4 辻崎忠由方 電話/FAX 075-722-7888
tisktdvs.willbe.w11@gmail.com 年会費(6,600円)は郵便振替 00970-4-223429 京都府 AALA 連帯委員会へ
ホームページ新版 <http://kyoto-aala.com/> (旧版へのリンクあります)

公開講演会開催!!

～朝鮮半島情勢と今後の展望～

②

去る2月16日(土)、立命館大学国際関係学部特任教授 文 京洙(ムン ギョンス)氏をお迎えし、「朝鮮半島情勢と今後の展望」と題して講演会を開催、以下はその要旨(前号の続き)です。

野党政治家、宗教人・キリスト教徒の民主化運動が学生運動に伴って成長し、70年代後半には韓国的高度成長が進み、その高度成長を底辺で支えた労働者の闘いもこの時代です。日本でもYH貿易という会社の女性労働者達が立て込もって機動隊と渡り会い、一人の女性が死亡するという事件があり、激しい闘いも起こっています。

80年代というのは、光州事件(1980年5月18日から27日にかけて大韓民国(韓国)の全羅南道の道庁所在地であった光州市(現:光州広域市)を中心として起きた民衆の蜂起。5月17日の全斗煥らのクーデターと金大中らの逮捕を契機に、5月18日にクーデターに抗議する学生デモが起きたが、戒厳軍の暴行が激しかったことに怒った市民も参加した。デモ参加者は約20万人にまで増え、木浦をはじめ全羅南道一帯に拡がり、市民軍は武器庫を襲うと銃撃戦の末に全羅南道道庁を占領したが、5月27日に大韓民



国政府によって鎮圧された。)以降の時代になります。今、韓国では光州事件を巡って国中が大騒ぎしています。今、野党ですが、自由韓国党内に凝り固まった右翼、保守の人が居て、光州事件の際に北朝鮮から600人の軍隊が送られて来て、北朝鮮が主導して光州事件を起こした、という。そして光州事件の遺族等や関わった人達を功労者として、年金を付与したりしているのはインチキだということで、今それを巡って、それを言った者を除籍にするという動きがあり、韓国のホットな話題は米朝首脳会談と光州事件の評価とされています。国会は機能マヒ状態です。

この光州事件は、韓国の社会運動を考える上で、転換点をなしている。光州事件以前の民主化運動は「民主化」という次元で、政府にお願いして人権や民主主義を守って下さい、というものでしたが、80年代以降、光州事件を経て急進化します。絶滅していたマルクス主義が復活し、マルクス主義的な潮流が学生運動を初めとした韓国の社会運動の中に定着する。それから米国に対する観点が180度変わります。70年代迄の韓国は世界で最も親米的な国(生活文化、朝鮮戦争を共に戦ったという歴史的意識等)だったが、光州事件で数百名の光州市民が軍部によって虐殺され、その軍部の投入を許した米国がバックに居るといふことを若者達が痛切に認識(「韓国は米国の植民地じゃないのか」といふ)します。特に若い人の間では最も親米的な国から最も反米的な国という対外認識が根付いている。

1987年6月、「1987年」という映画でその年の状況が描かれているが、韓国は民主化への道を歩むことになります。現在の憲法(大統領を直接有権者が選び、地方自治があり、言論・思想の自由が保障されている等)が創られたのがこの年です。これは、光州事件以降の「運動権」と言われる言葉が有りますが、これはマルクス主義の潮流があり、中には金日成(北朝鮮)の「チェチェ思想(主体思想)」を信奉する勢力があり、それらが過激になる、それに加えて80年代は韓国の工業化が非常に進展した時代で、80年代には太い労働者階級が成長します。現在、民主労組と韓国労組の二大ナショナルセンターを構成しています。

レジュメの81年、90年、95年の製造業の賃金を見てください。81年に67.3が90年には218.0、95年には400台に賃金が上がっています。15年で4倍になっています。日本の60年代の「所得倍増計画」の生活水準の向上の比ではない位の工業化が進んでいる。70から80年代に韓国の社会発展が築かれました。朴正熙政権の時代は人権を蹂躪した暗黒の時代だったが、こと近代化、高度成長に関しては韓国はOECD加盟国でもあり、先進国になっています。民主化した80年代には国内の消費水準の高まりで安定した太い層の中産層が日本のように成長した時代(現在は完全に無くなっている)です。80年代後半から90年代は終身雇用制、年功序列制など、韓国でも非常に安定的な労働慣行が定着し、労働者を中心に中産層が成長して、その中産層が民主主義、人権を求める時代で、そういう中産層の動きと、非常に急進的な学生達の動きが合流して韓国の民主化が実現しました。90年代に入ると、急進的な運動権の人達を中心に南北統一運動が盛り上がりますが、日本の社会運動の流れを圧縮して韓国も辿っています。日本は60年代、60年安保を経て学生運動が急進化して、大衆の支持を得られなくなり、70年代に退潮していきます。韓国も同様に90年代に民主化したこともあって、運動権を中心とした急進的な社会運動が退潮していきます。それに代わって登場するのが所謂、市民運動になります。80年代の社会運動は階級闘争でもあり、民族運動でもありました。大きな物語を主張していた運動から非常に個別的な争点、環境、女性差別、労働者の権利、子供の教育など、個別的な争点に基づく市民運動が台頭してきます。現在、ソウル市長をしているタゴンスン氏。90年代半ばに山陽連帯という市民運動を作って2000年に「落選落選運動」を展開した市民運動のリーダーですが、2000年代には消費者組合とか社会サービスの市民運動を展開し、日本の「まちづくり」等に学びながら韓国でもそれを適用しようと、運動を展開して2011年の市長選に当選しました。次期大統領候補の一人と言われています。急進的な社会運動の時代から市民運動の時代が変わっていきます。

～(時代の推移〔歴代大統領〕については略します)～



2016～17年の「ローソクデモ」は民主化運動の積み上げの色々な成果が籠められた運動です。2016年10月29日、最初の「ローソクデモ」が行われ、私も12月に参加しました。日本の方もかなり参加された模様です。毎週土・日に23回デモが行われ、最初のデモには約30万人が街頭に出ました。ピーク時にはソウルだけで100万人以上が集まり、全国で200万人以上の人々が街頭に出て、ローソクに火を灯したと言われています。延べ人数でいうと、



NHKの番組「アナザーストーリー」でも紹介されましたが、1600万人と言われています。1960年の「4月革命」以来、積み上げられてきた多様な階層(種類)の民主化運動がここに集約されている、と考えています。もうひとつの背景として指摘しなければならないのは、韓国の若者が放送しているインターネットラジオ「絶望ラジオ」の中で、2000年代のグローバル化の中で、彼らが直面している状況が本当に厳しい。一例をいうと、韓国の大学進学率は80%超(日本は60%)、大卒でも正規の職業に就けない。ソウル大学を出ても正規の職業に就けるのは50%、例えば、ソウル市役所職員募集で1職種に100人、場合によっては1000人の応募があるように、相当な競争率です。若者達が仕事に就けない。仕事に就けないので、結婚出来ない。結婚出来ないので、子供が出来ない。少子化が物凄い勢いで高齢化と共に進んでいる。そのような社会的な背景があって、しかも権威主義で、コネ(コネクション)が通る社会、大学進学を巡る不正で有力者の子弟が不正入学したことが発覚したことで、大騒ぎになりました。韓国社会の権威主義、何れの公務でも、上意下達で人々の視線が上へ上へといくような世界、ご都合主義で縁故主義、とりわけ朴 槿恵政権時代に蔓延します。

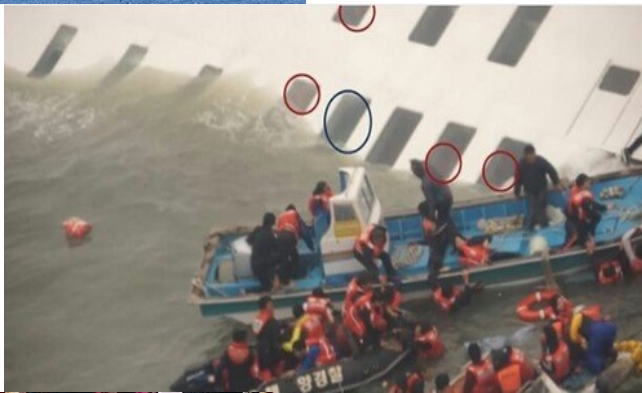
蔓延したことのひとつの表れが、2014年4月16日、大型旅客船「セウォル(世越)号」が全羅南道珍島郡の観梅島沖海上で転覆・沈没した事故です。高校生を中心に300人以上の人達が犠牲になりました。この事件も大きなきっかけになっています。民衆の怒りが政権に向けられています。もうひとつの背景として、1987年の韓国の民主化のきっかけとなった大闘争と言論界の役割があります。東亜日報、中央日報という韓国を代表する日刊紙が非常に大きな役割を果たしています。今回の「ローソクデモ」は朝鮮日報という非常に右翼の新聞が大きな役割を果たしています。朴 槿恵は韓国では「国政壟断(ろうだん)」と言われ、



国政を独り占めにし、不正を働いたという怒りです。その不正を最初に暴いたのがこの朝鮮日報という保守系の新聞だったのです。この新聞は朴 槿恵政権の報道機関としてその一翼を担っていたのですが、朴 槿恵大統領は殆ど自分の子分のように扱い、それに対するプライドもあって、記者達が大統領の不正を暴いた。その特ダネの記事に、

コメントの追加 [01]:

ハンギョレ新聞という韓国で最も進歩的な新聞がタッグを組んで不正を暴いた。その新聞報道に JTBC というテレビ放送、李 前政権時に総合編成チャンネルが3つ出来て、中央日報系の保守報道機関です。これが凄く大きな役割を果たしています。今、韓国は権力とか大企業をチェックし、異議申し立てをする主要な勢力は市民運動です。また進歩的な言論もそのチェック機能



を強かに果たしています。その代表例が JTBC です。「ローソクデモ」の構造を突き詰めて言えば、言論の役割ともうひとつは SNS という若い人達の間を広まったスマホ等の情報伝達ツールを使って拡散する。そのきっかけを作った伝統的な言論である報道、言わば縦のテレビ・新聞という報道機関と横の SNS が合流して、大きな規模の運動を作り出した。勿論、その底流には歴史的な民主運動の積み上げがあります。

それで登場したのが文 在寅政権です。任期は半分経過しました。「ローソク革命」が提起した課題を主要な政策テーマとして推進する。「積弊清算」と「南北和解」に取り組みました。文 政権が上手くいっていないのが、「経済の再建」、一向に改善されていません。若者の失業率が10%を超え(全体の失業率は 4~5%)、20%の若者が正規の仕事に就けない。これに対する不満もあり、政権発足当初の支持率は80%を超え、歴代政権で最も高かったが、現在は 40%台で推移しています。

~(最後に南北関係と米朝首脳会談 [2月27・28日両日、開催予定のハノイでの会談内容について] に関して文 教授が話された内容は既に報道されていることもあり、割愛させていただきます) ~